

診療情報を利用した臨床研究について

虎の門病院血液内科では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた記録をまとめるものです。この案内をお読みにになり、ご自身やご家族がこの研究の対象者にあたると思われる方の中で、ご質問がある場合、またはこの研究に「ご自分やご家族の診療情報を使ってほしくない」とお思いになりましたら、遠慮なく下記の相談窓口までご連絡ください。

【対象となる方】

2002年1月～2016年1月までの間に、白血病・骨髄異形成症候群・骨髄増殖性疾患・リンパ腫等の造血器疾患のために虎の門病院に入院・通院し、臍帯血移植を受けられた方

【研究課題名】

臍帯血移植における生着前免疫反応の移植成績への影響の検討

【研究の目的・背景】

《目的》

生着前免疫反応（Preengraftment immune reactions、PIR と略します）が、臍帯血移植の治療成績（生存率、再発率、合併症率など）に与える影響を調べ、PIR の適切な制御のための治療方法を確立します。

《研究に至る背景》

PIR は臍帯血移植後に特有に見られ、臍帯血が生着する前にドナーである臍帯血の白血球によって引き起こされる、発熱、皮疹、体重増加などを主な症状とする免疫反応と考えられています。白血病細胞などを駆逐する作用が期待される一方で、強く起こりすぎると様々な合併症の原因にもなり、適切な制御方法が確立していません。

本研究で PIR の適切な制御方法が確立できれば、臍帯血移植の有効性をさらに高めることが期待できます。

【研究のために診療情報を解析研究する期間】

2018年5月11日～2018年11月30日

【単独／共同研究の別】

虎の門病院単独研究

【個人情報の取り扱い】

お名前、ご住所などの特定の個人を識別する情報につきましては削除し、個人と関わりのない番号等におきかえて研究します。学会や学術雑誌等で公表する際にも、個人が特定できな

いような形で発表します。

また、本研究に関わる記録・資料は虎の門病院血液内科 内田直之のもと研究終了後 5 年間保管いたします。保管期間終了後、本研究に関わる記録・資料は個人が特定できない形で廃棄します。

【利用する診療情報】

診療情報： 年齢、性別、診断名、病期（病気の進行度）、生理検査、画像検査、血液検査、治療で使用された薬剤、臨床経過等

【研究代表者】

虎の門病院血液内科 内田直之

【虎の門病院における研究責任者】

虎の門病院血液内科 内田直之

【研究の方法等に関する資料の閲覧について】

本研究の対象者のうち希望される方は、個人情報及び知的財産権の保護等に支障がない範囲内に限られますが、研究の方法の詳細に関する資料を閲覧することができます。

【ご質問がある場合及び診療情報の使用を希望しない場合】

本研究に関する質問、お問い合わせがある場合、またはご自身やご家族の診療情報につき、開示または訂正のご希望がある場合には、下記相談窓口までご連絡ください。

また、ご自身やご家族の診療情報が研究に使用されることについてご了承いただけない場合には研究対象といたしませんので、2018年4月30日 までの間に下記の相談窓口までお申し出ください。この場合も診療など病院サービスにおいて患者の皆様にご不利益が生じることはありません。

【相談窓口】

虎の門病院 血液内科 内田直之

電話 03-3588-1111(代表)